

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年5月30日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年5月22日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	南ユタ大学(日本語名) Southern Utah University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2022年8月～2023年5月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): ホテル・リゾート・ホスピタリティマネジメント (現地言語での名称): Hotel, Resort & Hospitality Management <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月下旬 2 学期: 1 月上旬～4 月下旬 3 学期: 5 月中旬～8 月中旬 4 学期: ~
学生数	約 12080 人
創立年	1897 年



留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (アメリカドル)	日本円	備考
授業料	7,100	1,007,000 円	
宿舍費	5,500	780,000 円	
食費	3,600	500,000 円	
図書費		円	
学用品費	500	70,000 円	教科書代、日用品代など含む
携帯・インターネット費	200	28,000 円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	700	100,000 円	形態: 明治大学の保険
渡航旅費	1,800	260,000 円	ユナイテッド航空
ビザ申請費	300	43,000 円	
雑費	4,000	570,000 円	旅行費を含む
その他		円	
その他		円	
合計	23,700	3,358,000 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 羽田 目的地: ラスベガス 経由地: サンフランシスコ	
復路 出発地: ロサンゼルス 目的地: 成田 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: ユナイテッド航空 料金: 260,000 円 復路 航空会社: ZIPAIR 料金: 70,000 円 ∴ 合計: 330,000 円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: Trip.com)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

 学生寮(寮の名前:) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

 個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

 バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学がリストアップしてくれた住居の中から、住居管理会社に自分でコンタクトを取りました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

家賃は高めですが、個人のスペースもありつつ、ユニットメイトと一緒に料理したり、遊んだりと交流もできたので自分に合っていたと感じます。人にもよるとは思いますが、2学期間の留学では1人部屋がおすすめです。また、6月くらいに大学から案内が来て住居を契約しましたが、その時点でもっと安い物件はほとんど埋まっていたので、できるだけ早めに探し始めた方が良いと思います。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

 なし
 あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

 なし
 あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

何かあったときは大学からメールが届きました。また、同じ家に住んでいた子たちが情報を共有してくれたこともありました。田舎でも平和なので、特に身の危険を感じたことはありませんでした。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に大きな問題はありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを数枚持っていきました。また、現地で口座開設をし、持って行った現金はそこに入金して管理していました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

現地で調達できるもので十分生きてはいけますが、メイク道具や洗顔など特に顔に使用するものは使い慣れたものを持っていくのが良いと思います。田舎でアジアマーケットが充実していないため、日本食やお菓子を持っていくのもおすすめです。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航して授業が開始される頃にクレジットカードで支払いをしました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:1 学期 18 単位まで	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Anthropology	文化人類学
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Matthew Newsom
授業内容	人類学の成り立ち、多様な人種や文化の理解構築
試験・課題など	テスト 3 回、インタビュー 1 回
感想を自由記入	人類学の入門的位置づけの授業でしたが、単語が難しく、また授業後のパワーポイントの配布が無かったので初めの頃は苦労しました。ですが、大変だったおかげで周りの席の子たちと一体感が生まれ、一緒にテスト勉強などができたので、楽しかったです。教授は全生徒の名前を覚えようとするなど、とても良い方でした。



履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Acculturation		留学生用オリエンテーション	
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回		
担当教授	Alex Curtis		
授業内容	南ユタ大学やアメリカでのルール、文化、留学生としての生活方法などを学ぶ。留学生は必須。		
試験・課題など	エッセイが 2 回、期末試験、ほぼ毎週スピーキングビデオ録画		
感想を自由記入	アメリカの法律や、南ユタ大学のキャンパスツアーなどをはじめ、ホームシックへの対処法やアメリカの祝日・文化についても学びました。留学生しかいない授業なので、友達もできたし、課題もそこまで大変ではありませんでした。期末課題として、大学のイベントに参加した記録を、写真や日記と共に提出しました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Hospitality Management		ホスピタリティマネジメント入門	
科目設置学部・研究科	Hotel, Resort & Hospitality Management		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Sijun Liu		
授業内容	ホテル、テーマパーク、レストラン、ビバレッジ、クルージングなどホスピタリティ業界全般を学ぶ。		
試験・課題など	ケーススタディ 5 回、エッセイ 3 回、小テスト 4 回、グループプレゼンテーション 1 回		
感想を自由記入	ほぼ毎週何かしらの課題があり、大変でしたが、個人的にとっても興味のある講義内容だったため楽しかったです。教授が課題の進捗状況を気にかけてくださったり、質問に丁寧に答えてくださったりして、とても親切でした。国際日本学部のホスピタリティマネジメント(Type2)よりも、具体的なホテルやリゾート地などを参考にしながら、学習する授業でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Diversity		ダイバーシティ入門	
科目設置学部・研究科	History		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Kholoud Al-Qubbaj		
授業内容	多様性への理解構築		
試験・課題など	グループプレゼンテーション 1 回、エッセイ 3 回		
感想を自由記入	プレゼンテーションは全グループ異なるトピック(東アジア文化、ヨーロッパ文化、障がい者、LGBTQ+など)についてだったため、とても勉強になりました。準備は大変でしたが、終わったあとの達成感は大きかったです。講義では、様々な宗教や文化を知ることができ、毎回興味深かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to International Relations		国際関係学入門	
科目設置学部・研究科	Politics		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Michael Stathis		
授業内容	政治的観点から国際関係を学ぶ。		
試験・課題など	テスト 3 回、エッセイ 2 回		
感想を自由記入	授業資料などがなかったため、メモを取りながら講義を聴くのが難しかったです。エッセイのトピックも簡単なものではなかったので、書くのに時間がかかりました。テストは持ち込み禁止でしたが、留学生のみ辞書の使用は許可されていました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Hospitality Safety and Sanitation Management		ホスピタリティ安全・衛生マネジメント	
科目設置学部・研究科	Hotel, Resort & Hospitality Management		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Howard Hu		
授業内容	レストランの衛生管理、アルコールの提供、施設のセキュリティ管理について学ぶ。		
試験・課題など	毎クラス後に小テスト、資格試験 3 回、ケーススタディ 3 回、ペアプレゼンテーション 2 回		
感想を自由記入	レストラン経営、アルコール提供、安全管理についての 3 つの資格を取得することができます。個人的には、ペアでレストランへ行ってその安全・衛生管理について観察し、プレゼンテーションを行ったのが面白かったです。資格試験は簡単ではないので、たくさん勉強しました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Event Planning		イベント計画入門	
科目設置学部・研究科	Hotel, Resort & Hospitality Management		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	AJ Templeton		
授業内容	イベントの計画、実施について学ぶ。		
試験・課題など	小テスト 10 回、イベント分析 2 回、イベント関係のニュースリフレクション 3 回、ケーススタディ 4 回		
感想を自由記入	8 人ほどゲストスピーカーの方々が来てくださり、様々なイベントについてのお話を聞くことができました。イベントを計画する上で注意すべき点や、イベントプランナーの仕事などについて深く学ぶことができ、とても面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Human Development through the Lifespan		人生における人間の発達	
科目設置学部・研究科	Family Life & Human Development		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Clint Broadbent		
授業内容	人間の誕生から死までを学ぶ。		
試験・課題など	グループプレゼンテーション 1 回、テスト 4 回		
感想を自由記入	プレゼンテーションはクラス内ではなく、大学全体の発表会でだったため、パネルを見に来てくれた多くの人々に何回もプレゼンテーションをしました。初めはとても緊張しましたが、良い経験になりました。テストはテストセンターで受験するかなり本格的なものだったため、念入りに勉強しました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Globalization in the 21 st Century: World Regional Geography		グローバリゼーション	
科目設置学部・研究科	Geography		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Jamie Spinney		
授業内容	大陸ごとの文化、グローバル化、環境問題などについて学ぶ。		
試験・課題など	小テスト 12 回、テスト 2 回、中エッセイ 9 回		
感想を自由記入	様々な大陸の文化や自然環境について学ぶことができました。教授が授業の一環として Movie Night を開催してくださったり、出席点の一番多い生徒にアイスの無料券を配布したりなど、楽しく授業に参加することができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Food & Culture	食と文化
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Emily Dean
授業内容	様々な地域や宗教の食文化や食産業について学ぶ。
試験・課題など	テスト 2 回、エッセイ 1 回、プレゼンテーション 1 回
感想を自由記入	期末の長いエッセイとプレゼンテーションが大変だった分、達成感が大きかったです。授業内で、一人一品を持ち寄るポットラックを行い、クラスメイト達の手料理を食べたのが楽しかったです。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	入学
	8月～9月	どの大学に留学したいか決定するためのリサーチ、TOEFL受験1回目
	10月～12月	TOEFL受験2回目、出願、面接
留学開始年	1月～3月	留学先決定、留学先大学の入学手続き
	4月～7月	ビザ取得、航空券購入、留学先大学と履修相談などのやり取り、住居探し・申し込み、 <small>予防接種などの確認</small>
	8月～9月	渡航準備、留学開始、中間試験
	10月～12月	期末試験、冬休み
留学/帰国年	1月～3月	春学期開始、中間試験
	4月～7月	期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

まず、南ユタ大学を選んだ理由として、田舎で治安が良いことと、自分の興味があるホスピタリティ系の学部があることが挙げられます。実際に治安はとても良く、1人で出歩くのにも支障はありませんでしたし、大学を中心とした街のため、地元の人々は暖かく、地域一体となってイベントなどを盛り上げる姿が印象的でした。留学に行く前は、初めての海外での生活、そして初めての1人暮らしということで不安もたくさんありましたが、いざ振り返ってみると、新鮮な事・物に囲まれ毎日がとても充実していたなと思います。

学習面について

現地の学生たちと同じレベルの授業を受けるということで、とても緊張していたのを覚えています。授業内容を理解できるかはもちろん、課題をこなせるか、グループワークに貢献できるか、など様々な不安がありました。初めは、わからないところをクラスメイトに聞くのですら緊張しましたが、自分から助けを求めないと何も解決しないし、わからないから教えてという空気を醸し出してもそれを汲み取ってはくれません。ですが、助けを求めることができれば、教授も友達も本当に聞いたことを何倍にもして助けてくれます。質問やオフィスアワーにたくさん行って、教授に覚えてもらうことができれば、授業内でも気にかけてくれますし、課題の進捗状況を確認してくれ、授業をさらに充実させることができます。日本の大学と比べて、毎回の課題の量が膨大であり、終わらせることが不可能に思えたこともありましたが、図書館に行ったら毎日誰かしら友達が出て、夜遅くまで一緒に勉強するという日々も、今思えばとても楽しい日々でした。明治のGPAに関係ないとはいえ、課題を適当にこなすだけでは伸びる力も伸ばすことができないと思ったので、良い成績を取れるように頑張りましたが、その結果、秋学期・春学期共にDean's Listという成績上位者のリストに掲載ことができました。頑張りが形として残ったのはとても嬉しいです。課題の中で1番緊張したのは、プレゼンテーションでした。自分の発音で理解してもらえるのか、見やすいパワーポイントを作ることができたか、などプレゼンテーションの前はいつも不安でたまりませんでした。ひとつひとつこなしていく上で徐々に自信もつき、人前で話すことへの抵抗も少なくなって、成長を自分自身感じる事ができています。また、南ユタ大学を留学先を選んだ理由の一つである、ホスピタリティ系の学部の授業を取ることができたのも、とても良い経験となりました。

生活面について

私自身はキッチンとランドリーが共有スペースとなっているアパートに暮らしていました。パーソナルスペースを保ちつつ、ユニットメイトとも仲良くなる事ができたのでとても良い選択をしたと思っています。初めの頃は、英語ネイティブのユニットメイトたちが話していると、その会話スピードや内容についていくのがとても難しかったのですが、わからない単語を積極的に聞いたり、挨拶で終わらせずに自分から話しかけたりすることで、日常的な英会話力も伸ばす事ができたと感じています。会話についていけないから話に入らずに自室に閉じこもるのではなく、それどういう意味？何の話してるの？と会話に飛び込んでみる事が重要だということを実感しました。留学初日から、ISAという留学生支援団体の学生たちが本当にたくさんのお手助けしてくれたり、イベントに誘ってくれたりしたおかげでスムーズに友達を作ることができました。留学を通して、様々な国の文化を直接感じるような経験がたくさんできたことは大きな財産になったと心から感じています。また、長期休み際には毎回旅行に行きました。同じアメリカでも、地域によって雰囲気が大きく異なっており、とても楽しかったです。アメリカ中色々なところへ旅行できるのも留学中ならではの思い出です。加えて、南ユタ大学のあるシダーシティは、雄大な自然に囲まれておりハイキングやキャニオンに行ったり、ウィンタースポーツをしたり、星空を見に行ったりする機会もありました。車が無いと買い物に行くのも大変な田舎ではありますが、だからこそその自然と隣り合った生活はとても居心地がよく、貴重な経験となりました。

人生のうちのたった9か月だから、迷ったら大変な方の道を選ぼうという気持ちで生活していました。毎日全力100%だったかと聞かれたら、そうではない日もありましたが、留学を辞めたいと思ったことや、留学に来たことを後悔したことは一度もありませんでした。お別れしたくない、絶対にまたどこかで再会したい、と思えるような大切な人々に出会うことができ、今後においても、自分にとってこの9か月間は間違いなく、特別でキラキラしたかけがえのない経験となると思います。どんな留学生生活を送るかは自分自身にかかっています。やりたいことは全部やって、後悔の無い留学生生活を送られることを願っています。

